

平成26年3月期 決算説明会

株式会社NFKホールディングス
東京証券取引所JASDAQ
証券コード：6494

平成26年6月

- I 平成26年3月期 決算概要
- II 平成27年3月期 業績の見通し
- III 1 6 中期経営計画

<参考資料>

<会社案内>

I 平成26年3月期 決算概要

I 平成26年3月期決算概要 決算総括

★決算総括

- 3期連続の当期純利益を計上して安定した黒字化へ
- 1株当たり1円の配当を継続

Point 1

大型案件の継続的な受注

Point 2

海外向け売上高の大幅な増加

Point 3

株主還元継続

I 平成26年3月期決算概要 連結損益計算書

(単位：千円)

	平成25年3月期	平成26年3月期	前期比増減額	前期比増減率
売上高	3,121,602	3,171,278	49,675	1.6%
売上総利益	901,430	892,632	△8,798	△1.0%
販売費および 一般管理費	608,542	669,987	61,445	10.1%
営業利益	292,888	222,645	△70,243	△24.0%
経常利益	298,411	217,506	△80,905	△27.1%
税金等調整前 当期純利益	311,343	222,059	△89,284	△28.7%
当期純利益	332,242	186,728	△145,514	△43.8%
当期包括利益	331,681	203,883	△127,797	△38.5%
EBITDA	309,307	235,021	△74,286	△24.0%

EBITDA=(経常利益217,506+支払利息4,394+減価償却費
13,121+のれん償却費0)

I 平成26年3月期決算概要 売上高増加の内容 案件規模別

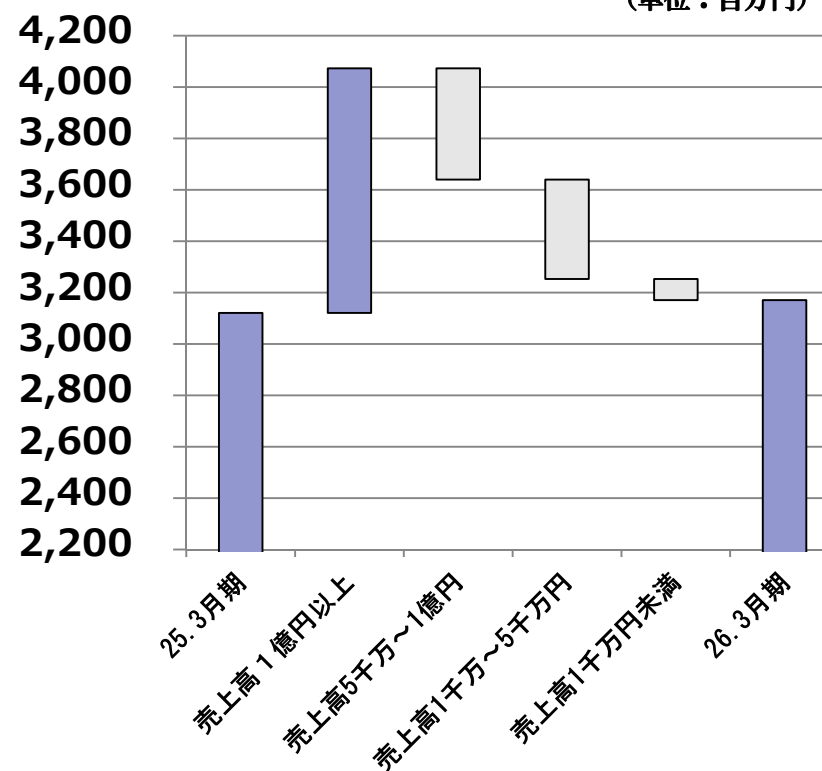
(単位：千円)

	平成25年3月期	平成26年3月期	前期比増減	前期比増減率 (%)
売上高	3,121,602	3,171,278	49,675	1.6%

(単位：千円)

	売上高
平成25年3月期実績	3,121,602
売上高1億円以上の案件増減分	952,550
売上高5千万円以上の案件増減分	△432,894
売上高1千万円以上の案件増減分	△387,032
売上高1千万円未満の案件増減分	△82,005
平成26年3月期実績	3,171,278

(単位：百万円)



・ 大型案件が牽引

I 平成26年3月期決算概要 売上高増加の内容 部門別

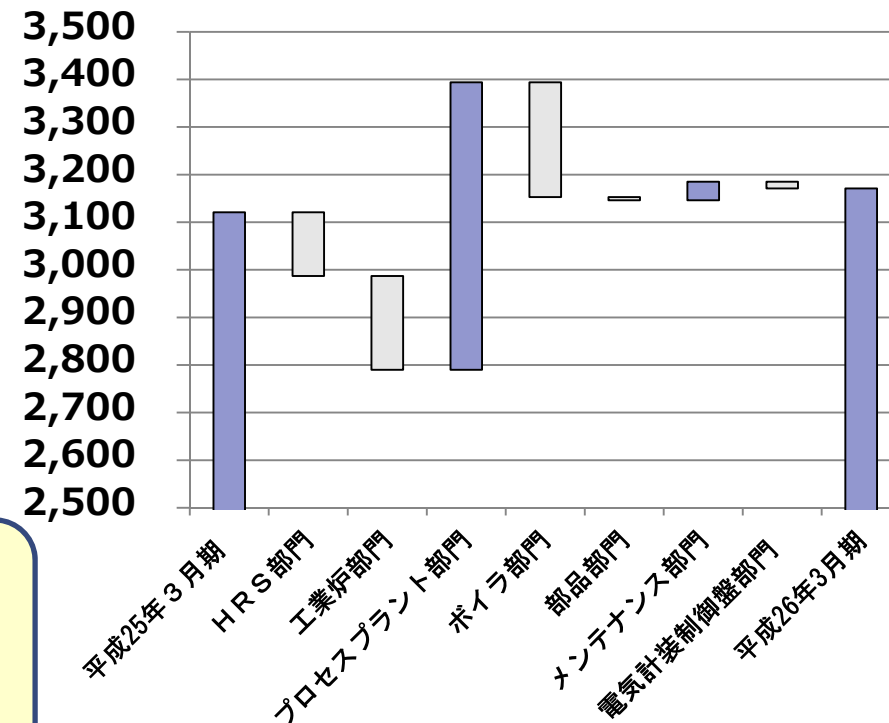
(単位：千円)

	平成25年3月期	平成26年3月期	前期比増減	前期比増減率 (%)
売上高	3,121,602	3,171,278	49,675	1.6%

(単位：千円)

	売上高増減
平成25年3月期実績	3,121,602
HRS部門	△133,977
工業炉部門	△197,751
プロセスプラント部門	604,984
ボイラ部門	△240,829
部品部門	△7,122
メンテナンス部門	39,478
電気計装制御盤部門	△14,168
平成26年3月期実績	3,171,278

(単位：百万円)



・プロセスプラント部門が牽引

電機計装部門は子会社売却により当期売上はございません。

I 平成26年3月期決算概要 営業利益減少の内容

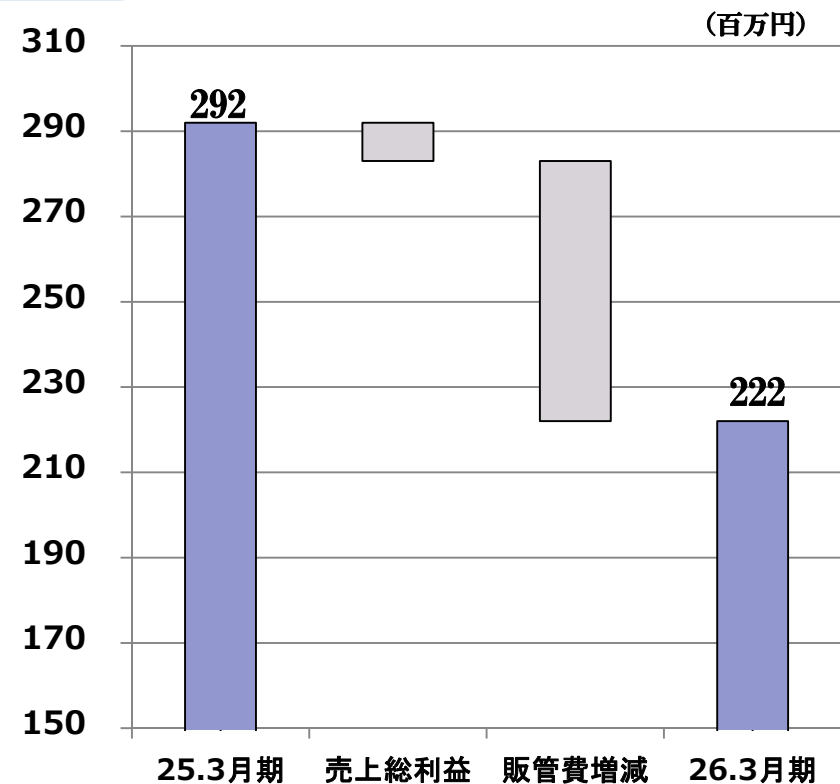
(単位：千円)

	平成25年3月期	平成26年3月期	前期比増減	前期比増減率 (%)
営業利益	292,888	222,645	△70,243	△24.0%

(単位：千円)

	営業利益
平成25年3月期実績	292,888
売上総利益の減少	△8,798
販売費および一般管理費の増加	61,445
平成26年3月期実績	222,645

- 販売費および一般管理費の増加
 - 研究開発費の増加
 - 人件費の増加
- 売上総利益の減少



I 平成26年3月期決算概要 連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	平成25年3月期末	平成26年3月期末	増 減
流動資産	3,092,672	3,548,642	455,970
固定資産	980,899	1,074,798	93,898
資産合計	4,073,572	4,623,440	549,868
流動負債	752,482	1,138,911	386,428
固定負債	464,856	455,126	△9,729
負債合計	1,217,339	1,594,037	376,698
資本金	2,131,532	2,131,532	—
資本剰余金	40,280	40,280	—
利益剰余金	266,172	422,187	156,015
自己株式	△195	△195	—
株主資本合計	2,437,789	2,593,804	156,015
その他の包括利益累計額合計	418,443	435,598	17,155
純資産合計	2,856,232	3,029,403	173,170
負債純資産合計	4,073,572	4,623,440	549,868

【流動資産】	() 内は前期末比増減
現金・預金	1,764百万円 (+165百万円)
受取手形・売掛金	1,445百万円 (+243百万円)
仕掛品	127百万円 (+41百万円)
繰延税金資産	34百万円 (△4百万円)
【固定資産】	
土地・建物等	808百万円 (+23百万円)
投資有価証券	135百万円 (+29百万円)
保険積立金	26百万円 (△3百万円)
【流動負債】	
支払手形・買掛金	601百万円 (+251百万円)
短期借入金	380百万円 (+360百万円)
前受金	7百万円 (△184百万円)
未払税等	29百万円 (±0円)
【固定負債】	
再評価に係る繰延税金負債	228百万円 (±0円)
退職給付に係る負債	202百万円 (+5百万円)

※退職給付に係る負債については前期の退職給付引当金と比較

財務指標

	平成25年 期末	平成26年 期末
自己資本比率	70.1%	65.5%
有利子負債	131百万円	529百万円

I 平成26年3月期決算概要 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	平成25年3月期	平成26年3月期	前年同期比 増減
営業活動による キャッシュ・フロー	195,067	△35,324	△230,392
投資活動による キャッシュ・フロー	59,215	△66,911	△126,126
財務活動による キャッシュ・フロー	△18,550	304,099	322,649
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△62	1,049	1,112
現金及び現金同等物の 増減額	235,670	202,912	△32,757
現金及び現金同等物の 期首残高	1,325,784	1,561,454	235,670
現金及び現金同等物の 期末残高	1,561,454	1,764,367	202,912

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

税引前当期純利益	222百万円 (+)
仕入債務増加	251百万円 (+)
売上債権の増加	243百万円 (-)
たな卸資産の増加	57百万円 (-)
前受金の減少	184百万円 (-)
減価償却費	25百万円 (+)
保険解約益	4百万円 (-)
法人税等の支払額	32百万円 (-)

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

定期預金の減少	35百万円 (+)
有形固定資産取得支出	106百万円 (-)
保険積立金解約収入	12百万円 (+)

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

短期借入金の増加	334百万円 (+)
配当金の支払額	30百万円 (-)

I 平成26年3月期決算概要 部門別売上高

(単位：千円)

	平成25年3月期		平成26年3月期		前年比	
	売上高	構成比	売上高	構成比	金額	増減率
工業炉燃焼装置製造業	3,118,861	99.9%	3,169,478	99.9%	50,616	1.6%
HRS部門	479,601	15.4%	345,624	10.9%	△133,977	△27.9%
工業炉部門	545,679	17.5%	347,928	11.0%	△197,751	△36.2%
プロセスプラント部門	1,049,585	33.6%	1,654,569	52.1%	604,984	57.6%
ボイラ部門	473,028	15.2%	232,199	7.3%	△240,829	△50.9%
部品部門	287,131	9.2%	280,009	8.8%	△7,122	△2.5%
メンテナンス部門	269,669	8.6%	309,147	9.8%	39,478	14.6%
電気計装制御盤部門	14,168	0.5%	0	0%	△14,168	△100%
その他の事業	2,741	0.1%	1,800	0.1%	△941	△34.3%
合 計	3,121,602	100%	3,171,278	100%	49,675	1.6%

I 平成26年3月期決算概要 部門別受注状況

(単位：千円)

	平成25年3月期		平成26年3月期		前年比増減額	
	受注高	期末受注残	受注高	期末受注残	受注高	期末受注残
工業炉燃焼装置製造業	2,919,567	1,124,509	3,140,009	1,176,207	220,442	51,698
HRS部門	451,874	95,053	334,466	83,895	△117,408	△11,158
工業炉部門	486,960	39,359	414,170	105,600	△72,789	66,241
プロセスプラント部門	1,136,519	803,908	1,593,388	742,727	456,869	△61,181
ボイラ部門	395,398	127,415	226,431	121,646	△168,967	△5,769
部品部門	259,361	38,116	276,989	35,096	17,628	△3,020
メンテナンス部門	189,455	20,658	375,731	87,242	186,276	66,584
その他の事業	—	—	—	—	—	—
合 計	2,919,567	1,124,509	3,140,009	1,176,207	220,442	51,698

Ⅱ 平成27年3月期 業績の見通し

Ⅱ 平成27年3月期業績の見通し 業績予想（連結）

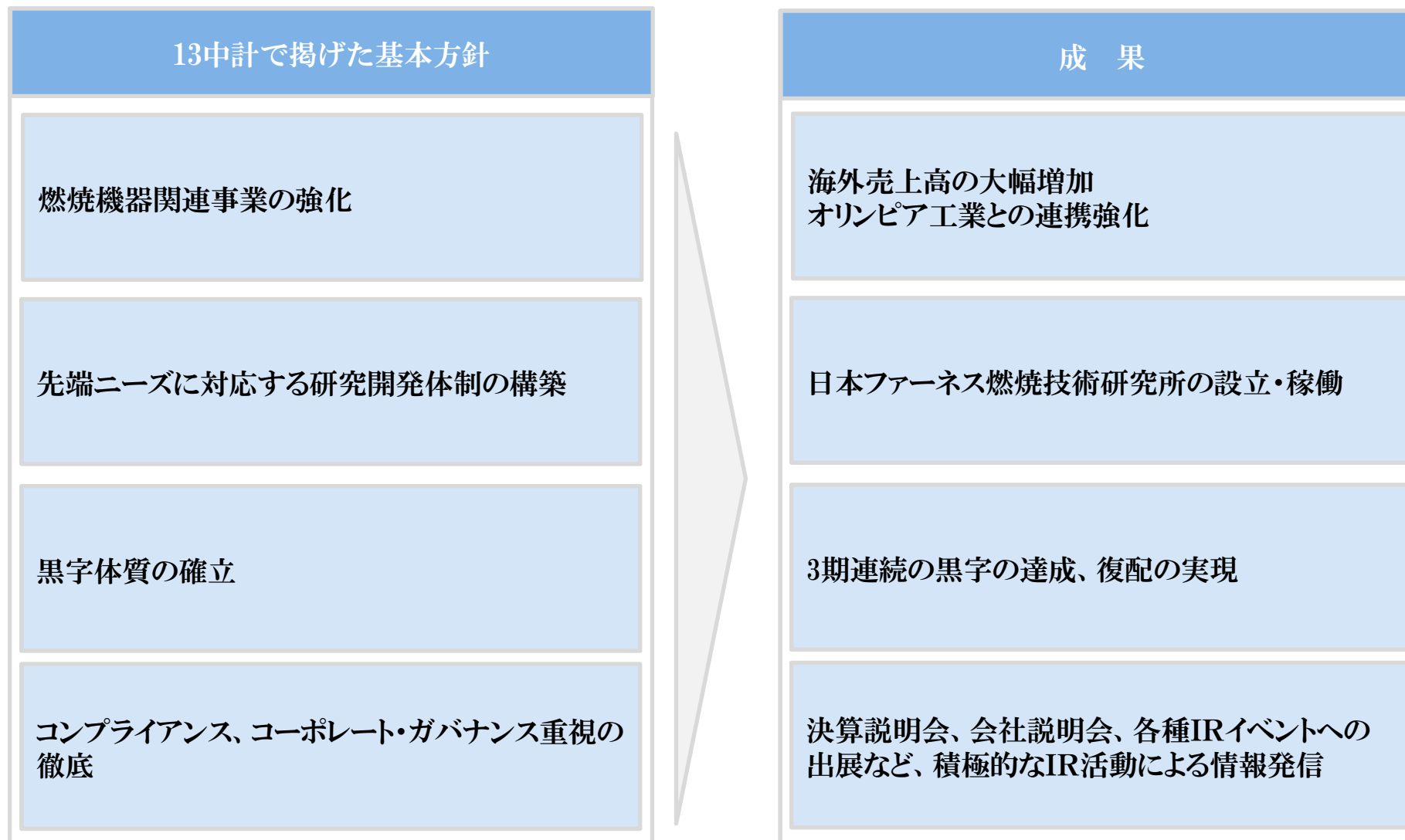
単位（百万円）

科 目	平成26年3月期	平成27年3月期	
	通期（実績）	通期（予想）	前期比
売上高	3,171	3,300	4.1%
営業利益	222	250	12.3%
経常利益	217	250	14.9%
税前当期純利益	222	250	12.3%
当期純利益	186	200	7.1%
1株当たり当期純利益	6.08円	6.51円	7.1%

4期連続の当期純利益計上で、さらなる企業価値向上へ

Ⅲ 1 6 中期経営計画

「13中期経営計画」の総括（基本方針）



「13中期経営計画」の総括（業績）

（単位：百万円）

	平成23年 3月期	平成24年 3月期	平成25年 3月期	平成26年 3月期	13中計期間増 額分	平成26年 3月期 (中計目標)
売上高	2,068	2,910	3,121	3,171	1,103	5,000
営業利益	△278	202	292	222	500	437
経常利益	△267	209	298	217	484	439
当期純利益	△231	191	332	186	417	428
純資産	2,217	2,524	2,856	3,029	811	2,965
1株利益(円)	△7.81	6.45	10.82	6.08	13.89	14.44
1株純資産(円)	74.77	82.20	93.00	98.64	23.87	100.00
配当金(円)	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00	1.00

「16 中期経営計画」 基本方針&重点戦略

経営基本方針

1. 燃焼装置関連事業の海外展開強化
2. 市場ニーズに対応した新製品開発
3. 安定配当の実現
4. コンプライアンス、コーポレートガバナンス重視の徹底

海外売上比率50%へ

新技術新商品の創出

国内基盤固め

トータル原価の削減

持続的成長を目指す

「16 中期経営計画」 基本戦略

海外売上比率50%へ



成長市場をキャッチアップ

- ・海外既存顧客に対するフォロー営業の徹底
- ・ローカルニーズに合致する既存製品の活用
- ・アジア市場での商流確率
- ・個別ニーズへの迅速なローカルフィット対応
- ・海外顧客へのサポート体制確立
- ・現地ベンダーの確保

海外顧客との信頼関係構築、NFKブランドの普及により中長期的な収益拡大を図る

新技術・新商品の創出



技術のNFKを再確立

- ・マーケティングを意識した営業活動の徹底
- ・新製品開発計画への営業部門による主体的な参加
- ・売れる商品開発の徹底
- ・PDCAサイクルの徹底による商品開発の効率化
- ・外部研究機関との積極的な連携

先達が築いた「技術のNFK」の本質に立ち返る

「16 中期経営計画」 基本戦略

国内基盤固め



国内既存顧客との関係強化によるニーズの把握

- 国内既存顧客に対するフォロー営業の徹底
- 強みのある商品を活かした仕掛ける営業
- ナレッジマネジメント強化による組織対応力の強化
- 業務効率の向上

マーケティング体制構築により
新技術・新商品の創出、収益の持
続的拡大の基盤を固める

トータル原価の削減



高利益の実現

- 営業活動の効率化による原価低減
- エンジニアリング活動の効率化による原価低減
- 低コストを意識した、仕様や材料の見直し
- 短納期、低コストを意識した新工法・生産技術の確立

トータル原価の削減を実現して高
利益を実現する

「16中期経営計画」 2014～2016年度 業績目標

(単位:百万円)

	平成26年 3月期(実績)	平成27年 3月期(計画)	平成28年 3月期(計画)	平成29年 3月期(計画)	16中計期間 増額予定分
売上高	3,171	3,300	4,300	5,000	1,829
対前年増収率 (%)	1.6%	4.1%	30.3%	16.3%	57.7%
経常利益	217	250	430	500	283
当期純利益	186	200	350	400	214
純資産	3,029	3,199	3,519	3,859	830
1株利益(円)	6.08	6.51	11.39	13.02	6.94
1株純資産(円)	98.64	104.15	114.57	125.64	27.00
配当(円)	1.00	1.00	2.00	3.00	2.00

< 参考資料 >

<参考資料> 平成26年3月期 ~TOPICS~**【廃ガス、廃液焼却炉(インシネレータ)】**

日揮株式会社様よりマレーシア向けに、約10億円の大型受注。平成26年6月に納入予定。
(平成25年7月17日開示)

**【石油化学工場向け加熱炉】**

海外プラント向けに国内大手エンジニアリング会社様より約6億円の大型受注。過去の納入実績などが高く評価された。平成25年12月に納入済み。
(平成25年1月17日に開示)



<参考資料>

1. オリンピア工業グループとの事業提携の活用

(1) 事業提携先であるオリンピア工業グループの製造能力を活用

①製造委託先の集約による管理コスト低減効果

②オリンピア工業の持つ資源の活用

- ・優れた生産技術力
- ・最新、大型の製造設備の活用による製造委託費低減効果

③両社共同での製造工程開発

(既定プロセスからのフィードバックによる設計改良など)

<参考資料>

2. 新技術開発体制

(1) 日本ファーンレス燃烧技術研究所が本格稼働

オリンピア工業株式会社西都工場敷地内に設立した日本ファーンレス燃烧技術研究所が本格稼働。各種大型バーナを対象にした燃烧試験システムにより「技術のNFK」の再確立に向けて取り組んでまいります。



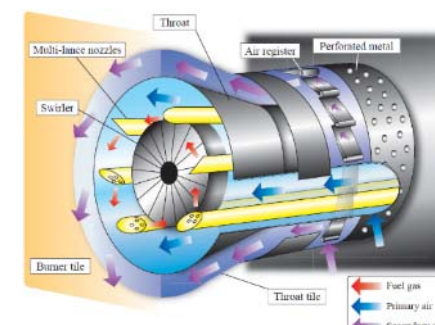
<参考資料>

3. 新製品・研究開発案件

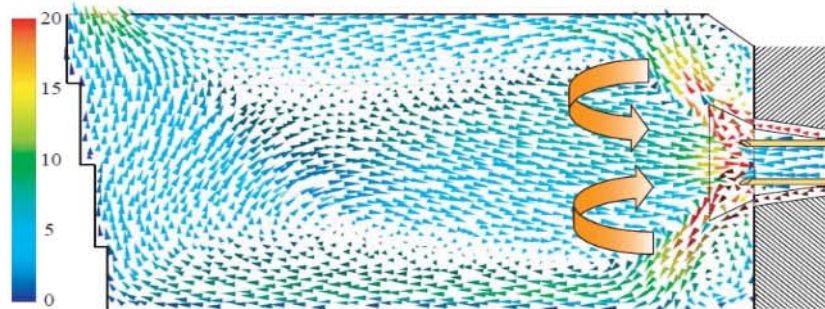
国内既存設備の更新需要キャッチアップとアジア市場開拓

(1) 大型ボイラ用高性能バーナ製品の改良開発 (水管ボイラ用新型ULX)

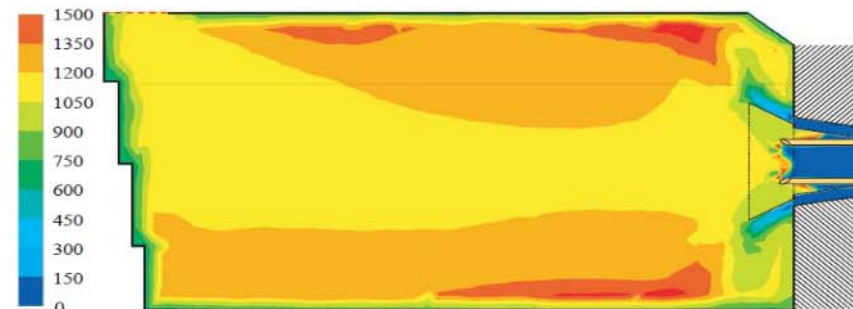
- ・ 小型で安定的な燃焼性能と低NO_x、低COを実現した高い環境性能
- ・ 大手ガス会社と協力して開発
→ 国内外でのシェア拡大のための大きな戦力
- ・ 中国、台湾等成長市場でのシェア拡大
- ・ 韓国のライセンサーへ新規バーナの技術供与



流速分布 [m/s]



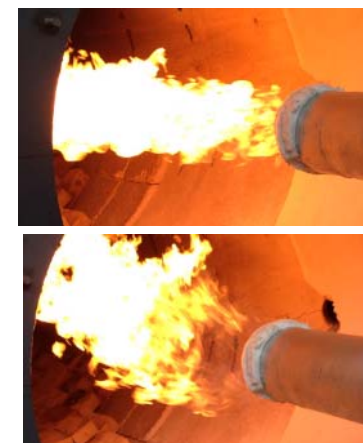
温度分布 [°C]



<参考資料>

(2) 新型ハイモーメントム・キルンバーナ開発

- ・高性能セメント焼成用キルンバーナの開発完了
- ・革新的な火炎制御性能、燃焼効率、低公害性を実現
 - 成長を続ける新興国市場での新規顧客獲得
 - 国内外既存顧客への海外メーカーによる攻勢に対抗



キルンバーナによる火炎パターン変化試験

＜参考資料＞

(3) 石油加熱炉用超低NO_xバーナ

- ・海外製油所向けバーナ市場での競争力強化
- ・既存顧客への競合他社攻勢を排除し交換需要に対応
- ・国内シェア巻き返しとアジア、中東でのシェア拡大
- ・シェア拡大によりメンテ・部品交換ベースを拡大
- ・日本ファーンレス燃烧技術研究所で試験中

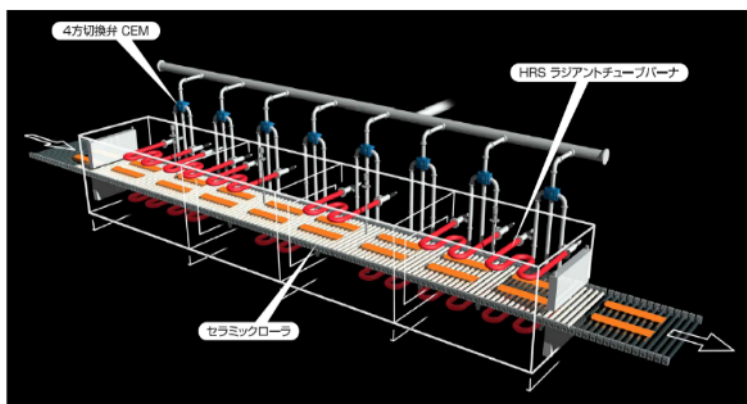


1.2MW～3.5MWのシリーズ化予定。
バーナサイズ変化、燃料種変化、予熱空気温度変化等による低NO_x特性を試験中

<参考資料>

(4) 高性能金属熱処理炉

リジェネバーナ採用! ローラース式ホットプレス加熱炉

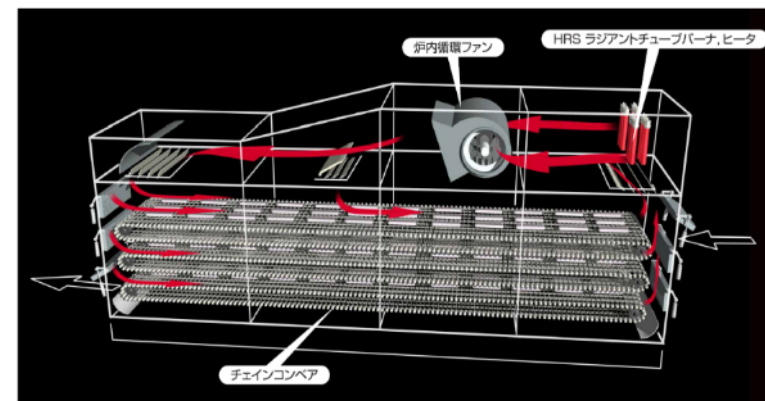


ワーク:自動車用高張力鋼板 熱源:LNG 加熱温度:930℃±5℃ 搬送方式:セラミックローラ

- バスケットを使わず、ワークを効率的に加熱ので、高い省エネルギー率を実現。
- 多段にすることで、在炉時間をキープしつつ炉長を短縮化し、炉を小型化。
- 適切な風量分配で均一加熱。

- リジェネ式ラジエントチューブバーナの採用により高い熱効率を実現。
- 耐熱強度高く、小径・細ピッチが可能なセラミックローラを用い薄板搬送可。
- 高張力鋼板のホットプレス炉に最適。

バスケットレス! 多段コンベア式AL合金熱処理炉



ワーク:アルミ合金製部品 熱源:LNG または 電気 加熱温度:200℃±5℃ 搬送方式:チェインコンベア

【会社案内】

1. 会社概要

(1) 会社概要

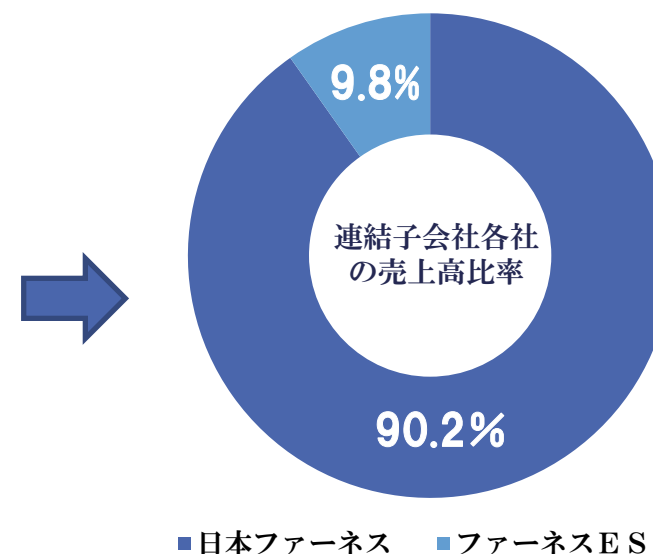
商号	株式会社NFKホールディングス	事業内容	燃焼装置関連事業
本社	横浜市鶴見区尻手2丁目1番53号	事業所※	横浜市鶴見区／大阪事務所／豊田事務所／静岡工場／
代表者	代表取締役社長 関口 陽介	連結子会社	2社
設立	1950年4月12日	持分法適用関係会社	1社
資本金	2,131百万円（平成26年3月末現在）		
売上高	3,171百万円（平成26年3月期連結）		
従業員	92名（平成26年3月末現在・連結）		

※子会社含む

(2) 企業集団の構成

会社名	事業内容	売上高
日本ファーンエス株式会社	燃焼関連装置製造販売	2,860百万円
株式会社ファーンエスES	燃焼関連装置メンテナンス	309百万円

（売上高：平成26年3月期、連結消去後）



2. 当社の企業理念

NFKホールディングス 企業理念

株式会社NFKホールディングスは、長年培った燃焼技術を基に、絶え間ない努力とチャレンジによって、最先端技術を社会に提供し、地球環境保全と循環型社会の実現に貢献するとともに、株主の皆様は勿論、企業を支えるお客様や取引先、社員、地域社会等の全てのステークホルダーの繁栄を目指して事業活動を行います。



最先端技術を社会に提供し、地球環境保全と
循環型社会の実現に貢献

3. 沿革

年 月	主 な 出 来 事
昭和25年 4月	日本火熱工業材料株式会社を設立
昭和25年 6月	日本ファーネス工業株式会社に商号変更
昭和28年 9月	蒲田工場(機械工場)設置
昭和33年 6月	大阪事務所開設
昭和37年 8月	横浜市鶴見区に本社事務所建設
昭和38年 5月	日本証券業協会に株式を店頭登録
昭和38年 6月	鶴見工場設置
昭和38年 9月	蒲田工場を廃止、機械工場を鶴見に集約
昭和45年 5月	日本ファーネス製造株式会社を設立
平成11年 6月	鶴見工場売却
平成16年 12月	ジャスダック証券取引所に上場
平成18年 10月	商号を株式会社NFKホールディングスに変更。 日本ファーネス株式会社(現・連結子会社)設立
平成20年 10月	株式会社ファーネスES(現・連結子会社)を設立
平成22年 1月	日本ファーネス製造株式会社を解散し、全事業を日本ファーネス株式会社に譲渡
平成25年 6月	日本ファーネス燃焼技術研究所設立

4. 当社と社会の関わり



最終製品	当社製品	最終製品	当社製品
① ビルの空調・熱源	ボイラ用バーナ	⑧ セメント	石灰焼成のためのバーナ
② アルミエンジン	アルミニウム合金熱処理のための工業炉	⑨ 水素・水素ステーション	小型水素製造装置におけるバーナ
③ アルミタイヤホイール	アルミニウム合金熱処理のための工業炉	⑩ 天然ガス	環境負荷ガス燃焼装置
④ 車のフロントガラス	ガラス曲げ加工のための加工炉	⑪ ソーラパネル	各種素材製造プロセス用加熱炉
⑤ 石油・灯油・各種石油関連製品	石油精製プロセスにおける加熱炉	⑫ 下水処理場	汚泥焼却設備
⑥ 鋼材	製鉄所用の加熱炉バーナ	⑬ ごみ焼却場	焼却炉用バーナ
⑦ 食品製造工場	殺菌加熱用ボイラ用バーナ	⑭ 化学工場、ガスプラント	廃液・廃ガス無害化燃焼装置

5. 当社の事業内容



1. プラントエンジニアリング事業

- ・ 産業機械関連
- ・ 石油関連
- ・ 環境関連



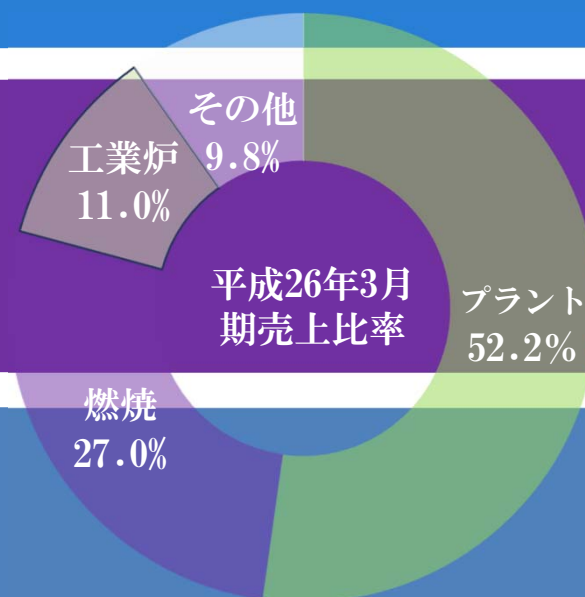
2. 燃焼機事業

- ・ 金属加熱関連
- ・ ボイラ関連



3. 工業炉事業

- ・ 自動車関連
- ・ 金属加工炉関連



5. 当社の事業内容 プラントエンジニアリング事業

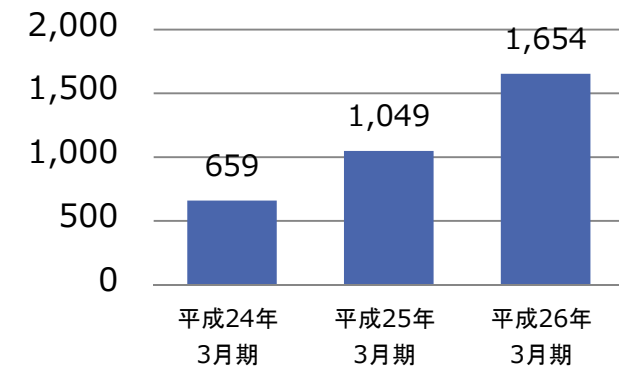
■石油精製、石油化学、窯鋳業等の各種産業プラント用燃焼装置や加熱装置、環境に配慮した焼却設備やプロセス装置、廃液廃ガス焼却装置、また、低NO_x性に優れたロータリーキルン用バーナなどを製造・販売。

【取り扱い製品】

- 加熱炉用バーナ・ロータリーキルン用バーナ
- 熱風発生炉・加熱炉
- 廃液・排ガス・焼却設備・プロセス装置

【納入先】

- セメントメーカー
- 石油関連企業、化学関連企業
- 天然ガス関連企業



Pickup !


■廃液&廃ガス燃焼装置

現在、当社の主力商品となっており、天然ガスプラントや化学工場などで発生する廃ガス&廃液を無害化する環境装置となっている。




5. 当社の事業内容 プラントエンジニアリング事業


ロータリーキルン燃焼状態




特殊熱風発生炉(高压型)




直火式熱風発生炉




ロータリーキルンバーナ




空気加熱炉




HRS-UXバーナ

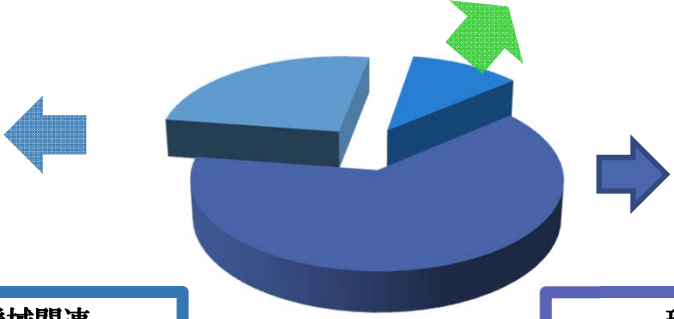


硫黄回収装置



廃液&廃ガス燃焼装置





産業機械関連

【主な製品群】
ロータリーキルン・バーナ
熱風炉

【主な販売先】
セメント関連企業

石油関連

【主な製品群】
空気加熱炉用バーナ
プロセスヒーター用バーナ

【主な販売先】
石油精製企業

環境関連

【主な製品群】
HRS-UXバーナ
インシネレーター
小型加熱炉

【主な販売先】
化学関連企業
天然ガス採掘施設

5. 当社の事業内容 燃烧機事業

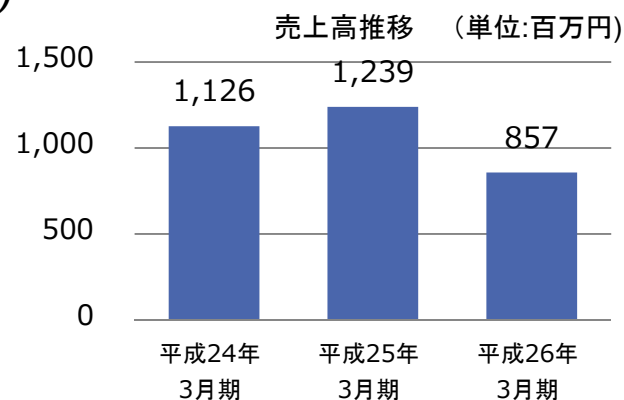
■ 高効率で低NO_x性に優れたボイラ用バーナ、各種バーナなど、最新の熱技術による製品を設計・製造・販売。

【取り扱い製品】

- ボイラ用バーナ
- ガラスエコマイザー
- ラジアントチューブバーナ

【納入先】

- ボイラメーカー
- 鉄鋼関連企業
- 窯業関連企業



Pickup !

■ 蓄熱式ラジアントチューブ燃烧システム

高温空気燃烧技術を鉄鋼用熱処理炉など各種熱処理炉に適用可能かつ低NO_xを同時達成。ラジアントチューブ用ハニカム内蔵型リジェネレイティブバーナ。

5. 当社の事業内容 燃焼機事業

水素バーナ



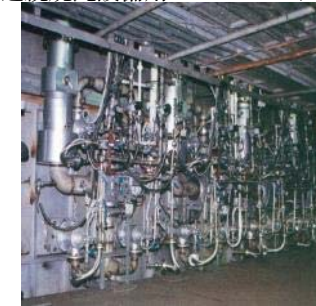
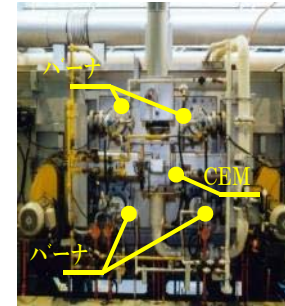
ULN型低NOxバーナ



メッキ設備用 HRSラジアントチューブバーナ



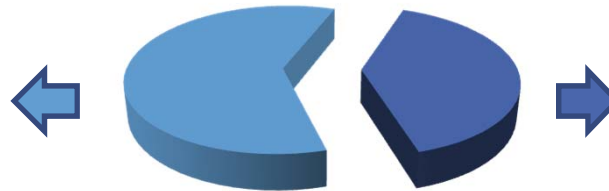
連続焼鈍設備用HRSRTバーナ



ボイラ用廃熱回収器



ガラス製熱交換器



ボイラ関連

【主な製品群】
 水管ボイラ用バーナ
 水素バーナ
 多種燃料バーナ

【主な販売先】
 大手ボイラメーカー

金属加熱炉関連

【主な製品群】
 鉄鋼加熱用リジェネバーナ
 ラジアントチューブバーナ

【主な販売先】
 鉄鋼関連企業
 窯業関連企業

鍛造加熱炉用HRS-DLバーナ



鍛造加熱炉用HRS-DLバーナ



5. 当社の事業内容 工業炉事業主力製品

■セラミックハニカム搭載のリジェネレイティブバーナを適用した高性能工業炉を数多く提供。

【取り扱い製品】

- バスケットレス回転炉、各種連続炉
- 各種熱処理炉
- 台車型焼鈍炉

【納入先】

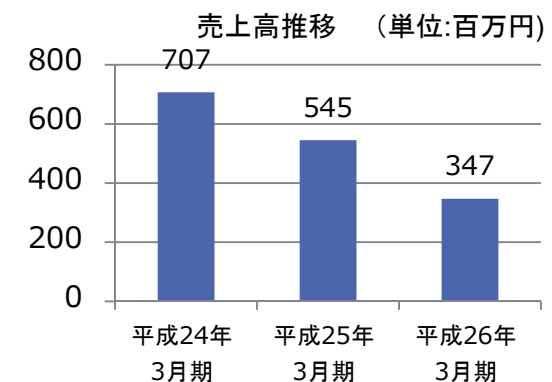
- 自動車メーカー、自動車部品メーカー
- 金属加工企業
- 熱処理関連企業

Pickup !

■バスケットレス回転炉

日本機械工業連合会 優秀省エネルギー機器 『経済産業大臣賞』受賞。バスケットレス化を実現したことにより、従来製品より42%もの省エネ化を実現。

多くの国内自動車メーカーにて採用



5. 当社の事業内容 工業炉事業

バスケットレス多段回転炉



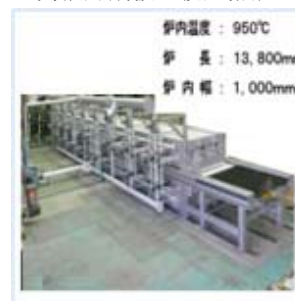
2階建AL鋳物T6熱処理炉



自動車用ガラス曲加工炉



高張力鋼板連続加熱炉



バッチ式熱処理炉(直火式)



バッチ式熱処理炉(RT式)



多目的合金鋼バッチ炉



自動車関連

【主な製品群】
バスケットレス回転炉
ガラス曲げ加工炉

【主な販売先】
大手自動車メーカー
自動車部品製造メーカー

鉄・非鉄金属熱処理関連

【主な製品群】
鉄・非鉄金属熱処理炉
熱処理用ラジアン
チューブバーナ

【主な販売先】
金属加工メーカー
熱処理関連企業

6. 当社の強み

1. 卓越した技術力

- 高温空気燃焼等の様々な新技術の発見、導入
- 多数の受賞歴
- 60年以上の経験と実績に基づく圧倒的な技術

2. カスタムメイド

- 受注生産により、顧客のきめ細かい要望に対応
- 鉄鋼、非鉄、熱処理、窯業、石油化学・天然ガスプラントなど多分野へ供給。
- 在庫リスク等は無し

3. 高い製品信用力

- 高性能の製品分野での製品供給に自信
- 高いリピートオーダー率

4. 優良な顧客基盤

- 販売先は大手優良企業が大部分を占める

5. ファブレスで柔軟な経営

- 自社工場生産は約5%。実質的なファブレス企業
- 経営的選択肢が極めて豊富

6. 豊富な知財・特許

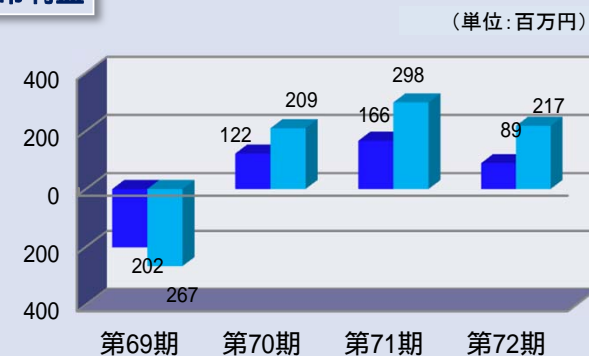
- 今まで取得した特許は
国内特許219件、海外特許117件

<参考資料> 業績推移

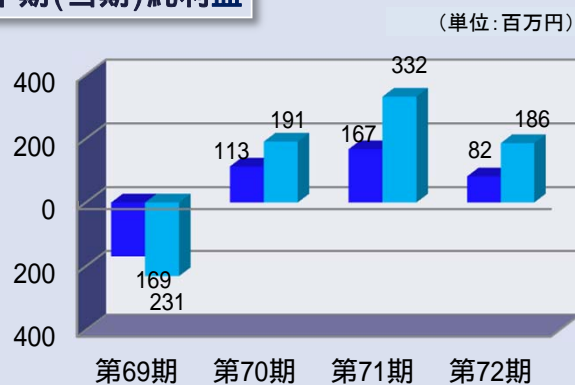
売上高



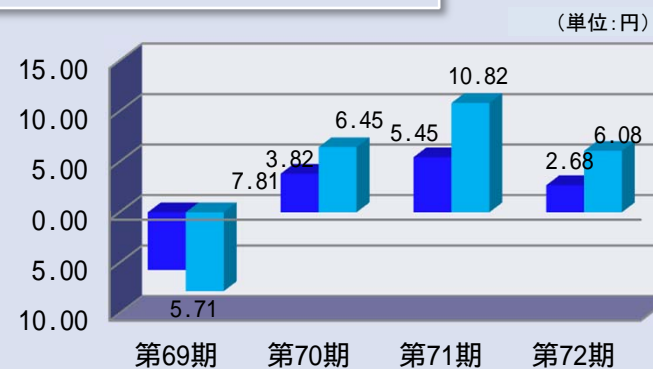
経常利益



四半期(当期)純利益



1株当たり四半期(当期)純利益

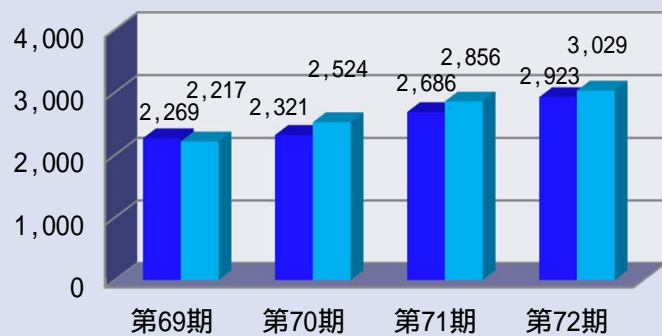


■ 第2四半期 ■ 通期

<参考資料> 業績推移

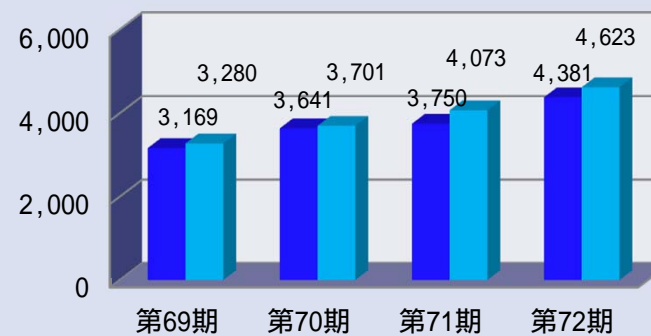
純資産

(単位:百万円)



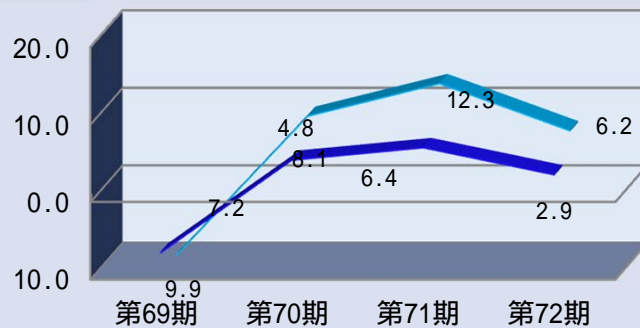
総資産

(単位:百万円)



ROE

(単位:%)



(注)次の通りROEを算出しております。

ROE=当期(四半期)純利益/(平均純資産-新株予約権-少数株主持分)

■ 第2四半期 ■ 通期

本資料に関するお問い合わせ

株式会社NFKホールディングス IR企画室

TEL：045-575-8000

E-MAIL：ir@nfk-hd.co.jp

★注意事項 本資料に記載されている計画・戦略・見通しおよびその他の歴史的事実でないものは、将来に関する見通しであり、これらは現在入手可能な期待・見積り・予想に基づいております。これらの期待・見積り・予想は経済情勢や競争環境の変化等の潜在的なリスク・不確定要素、仮定の影響を受けますので、実際の実績は見通しとは異なる可能性があります。

また、当社は新しい情報・将来の出来事などに基づきこれらの将来予測を更新する責務を負うものではありません。

